

# 市長施政方針

6月市議会定例会の演説より抜粋



ただいま上程されました平成21年度山陽小野田市一般会計補正予算ほか諸案件の審議に先立ち、平成21年度の施政方針並びに予算編成について、所信の一端を申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解を賜りたいと存じます。

本市における6月補正予算は、国の施策と歩調を合わせながらの肉付け予算となり、当初の骨格予算と合わせて、平成21年度の通年予算となります。

具体的な予算編成に当たりましては、「第一次山陽小野田市総合計画」に掲げる「活力ある住み良さ創造都市」の実現のために、経常的経費は引き続き「枠配分方式」を採用し、予算の重点化と効率化を図りました。また、政策的な臨時的経費につきましても、計画性や緊急性等6つの評価項目について行政評価を行い、将来の都市像を見据え、優先度の高いものを厳選しました。こうした予算編成に基づき、市長として、確固たる信念のもと、より一層「活力ある住み良さ創造都市」の実現を加速させたいと考えております。具体的な施策につきましては次のとおりです。

まず、都市像ですが、地球規模では環境問題が、国内では人口減少社会と超高齢化社会への対応が急務であります。環境問題も、活力も、未来を担う人材の確保も含めた持続可能な地域社会を確立する必要があります。そこで、本市における具体的な取り組みとしては、市関連施設のECO指数を向上させるため、市役所の中からモデル的に「ISO14001」取得への挑戦を始めてまいります。やがては学校や家庭でも挑戦できる地域版環境ISOを考案し、住み良さ創造の環境都市を目指します。また、人口減少社会への対応としては、定住自立圏の形

成と企業誘致を推進し、雇用の場を創出してまいります。更に、地域の魅力を創造し、産業遺産の活用、農林水産業の振興と特産品開発など、故郷の「歴史」「文化」「食」を産業に結び付けます。一方、超高齢化社会への対応としては、保健・医療・福祉の継ぎ目の無い連携を目指し、高齢者に温かい地域医療・地域福祉の更なる充実を図ってまいります。

これらの施策の最も重要な基盤整備の一つとして、市街地の慢性的な渋滞緩和、小野田地区と山陽地区の交流拡大を図る交通網を整備します。これに連動して、小野田湾岸道路・有帆川架橋の早期完成も推進してまいります。また、これまで、財政的理由で本格的活用ができなかった合併特例債につきましても、市民の意見を十分に反映させ、活力あるまちづくりのために有効活用していきたいと考えております。

そして、これら市政の運営にあたる基本姿勢は、一貫して「公平公正 市民のために 市民とともに」であります。これらの意識を職員にも徹底し、市民に隠し事の無い市政を貫いてまいります。また、男女共同参画社会の実現に向けても、さらに努力していく所存であります。そして、住み良さランキングのランクアップを目指します。このランキング数値を、市民の皆様と共にアップさせ、数値の上だけではなく、それを市民の皆様が実感できるよう、施策のプロセスも大切にしていきたいと考えております。

以上、厳しい社会・経済情勢ではありますが、“ふるさとの春まであと一歩”であります。市民本位の視点に立って、限られた財源を最大限有効活用し、職員と一丸となって、諸施策の推進にまい進していく所存であります。市民の皆様並びに議員各位のご支援、ご協力を申し上げます。平成21年度の施政方針と予算編成の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。